

(対象期間：2021/11/29～2021/12/3)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移
(2016年1月4日～2021年12月3日)

【株式市場】

週初のインドネシア株式市場は大手銀行株、通信株が堅調に推移したため上昇しました。政府は2022年に雇用創出法（オムニバス法）の改正作業を開始する旨を示しました。11月30日は、世界的なオミクロン株への懸念を背景に外国人投資家の資金流出がみられ弱含みでした。週末にかけては、オミクロン株等の悪材料が出尽くしたことで国内投資家の資金流入が見られましたが、通貨ルピアが弱含みとなったことや配車サービスのGRABの株価がナスダック上場初日に急落したこと等が嫌気されて下落しました。インドネシア株式市場は前週末比で下落しました。

2021/11/26	2021/12/3	変化率
6,561.55	6,538.51	-0.35%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2021年12月3日)

【債券市場】

インドネシア債券市場は週初は利回りはやや低下（価格は上昇）しました。12月1日に発表された11月の消費者物価指数（CPI）は食品、飲料等の上昇を背景に前年同月比+1.75%と4か月連続で上昇し、年初来で最大の伸び率となりましたが、引き続きインドネシア中央銀行（BI）の目標レンジ内となりました。国債利回りはCPIの上昇を受けて上昇しました。その後、大手格付け会社のMoody's社がインドネシアの成長鈍化の長期化と困難な財政再建の道筋が格下げ要因となる可能性があるとして示唆したことから、週末にかけて債券利回りはさらに上昇し、10年国債利回りは前週末比で上昇しました。

2021/11/26	2021/12/3	変化幅
6.092	6.256	+0.164

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移
(2016年1月1日～2021年12月3日)

100インドネシアルピアの対円レート

【為替市場】

ルピアは、週初前週末の下落の反動や外国人投資家の株式市場への資金流入を背景に堅調に推移しました。しかし、12月1日以降は債券市場からの外国人投資家の資金流出や大手格付け会社のMoody'sのインドネシアの格下げリスクについてのコメントが嫌気され下落しました。その後も、米国の金融政策の変更が意識される中で3日に発表される米国の雇用統計を前に様子見姿勢が強まり、アジア通貨全体が弱含む中でルピアも下落しました。ルピアは対米ドル対円とも前週末比で下落しました。

2021/11/26	2021/12/3	変化率
0.7939	0.7856	-1.05%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャルグループ

211206 (02)